

もっと止まって!

STOP

トラハラ

トラフィック

交通ハラスメント

交通ハラスメント。

それ、歩行者への

ライトを点灯しない。

照らそう 歩行者の命。

伝えようクルマの存在。

早めのライト点灯を。

夕暮れ時

もっと!
もっと!



新潟県交通ハラスメント
STOP!キャラクター
トラハラくん

「冬の道 慌てず急がず 安全運転」

新潟県交通安全
マスコット
ルルちゃん



長岡市立上組小学校 6年 野上 玲央さん
令和6年度 新潟県JA共済小・中学生 交通安全ポスターコンクール 入賞作品

冬の交通事故防止運動

横断歩行者の交通事故防止
～「渡るよサイン」の活用～

飲酒運転の
根絶

冬道の
安全走行



令和
7年

12/11木→12/20土



運動の詳細はこちら

主唱／新潟県・新潟県警察・新潟県交通安全対策連絡協議会 協力／全国共済農業協同組合連合会 新潟県本部・(公財)新潟県交通安全協会

もっと止まって!



「冬の道 慌てず急がず 安全運転」

冬の交通事故防止運動

令和7年 12/11(木)→12/20(土)



横断歩行者の交通事故防止

～「渡るよサイン」の活用～

ドライバーは、早めにライトを点灯しましょう!

「暗くなってきた。」と感じるタイミングは人によって異なります。歩行者や他の車に自分の存在を知らせるためにも、日の入り前からライトを点けることが大切です。

歩行者は、明るい服装と夜光反射材を身に着けましょう!

冬は、降雪によってドライバーの視界が悪くなりがちです。外を歩く時は、明るい色の服装を心がけ、夜光反射材を身に着けましょう。また、手をあげる、目で合図を送るなど、「渡るよサイン」で周囲に横断意思を伝えましょう。



飲酒運転の根絶

飲酒運転は重大な犯罪です!

令和6年中、飲酒運転による交通事故で最も負傷者が多かったのは12月でした。依然として飲酒運転による悲惨な交通事故は後を絶ちません。「飲酒運転はしない、させない」を合言葉に、飲酒運転を根絶しましょう。

二日酔いでの運転も飲酒運転です!

二日酔いの状態で車を運転することも飲酒運転に該当します。アルコールは簡単には体内から抜けません。適正な飲酒を心がけ、もし「朝、体調が優れない」等の違和感があった場合は、車の運転を控えましょう。



冬道の安全走行

時間にゆとりをもって運転しましょう!

冬の道路を運転する際に大切なのは、スピードを出さないことです。また、日頃から天気予報等で情報を収集し、「大雪」や「気温の低下」等の予報の場合は、普段より時間に余裕をもって行動できるよう準備しましょう。

冬道走行のポイント

- ① 車に積もった雪は必ず下ろし、窓の曇りが完全に取れてから運転をしましょう。
- ② スリップの原因になる「速度超過・急発進・急ブレーキ・急ハンドル」は避けましょう。
- ③ 交差点や横断歩道付近では、周囲に十分注意し、車間距離をしっかりと確保しましょう。
- ④ 暖房等の使用により、ガソリンの消費が増すので、非常時に備え、こまめに給油することを心がけましょう。
- ⑤ 冬道を安全に走行するために、スタッドレスタイヤ装着の他、タイヤチェーンの準備もしましょう。
また、バッテリー・ワイパー・ウォッシャー液の補充等、日頃から車両の点検も心がけましょう。

